

力同 テクニク 国内ほか、海外需要も増大

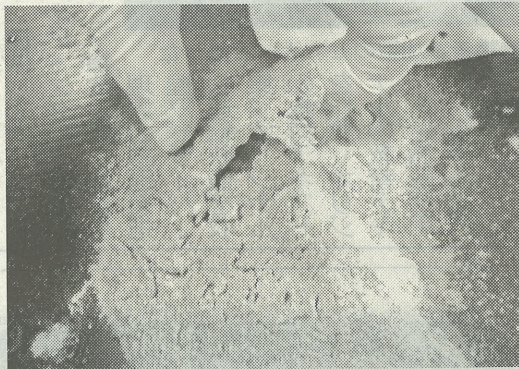
工事現場の粉塵問題を解決

「土」に特化する化学薬品メーカーのテクニク合同（神戸市、寺尾好太社長、☎078・436・0280）は、土木・解体現場や路面補修工事で発生する粉塵の飛散を抑える防止剤「ダストシャット」を開発し、廃棄物処分場や宅地造成地の他、公園や空港、土砂仮置き場、遺跡で採用されるなど、導入実績を急速に伸ばした。細かい砂ぼこりが舞い上

がる各現場の作業環境や周辺環境の改善を提案している。

同剤は、浸透性の高い低粘性液体製品（乳白色）で、希釈倍率によって飛散防止期間が変化する。現場によるが、10倍希釈した場合、1平方メートルあたり1キログラムの散布量で1カ月間の効果を発揮する。土壌表面層に皮膜を形成し、コーティングすることで飛砂・発塵を防止。特殊な機材を必要

粉塵の飛散を抑制



とせず、噴霧器や家庭用ジョウロで散布できる。飛散防止効果は、散布した後即時発揮する。粉体の塩化カルシウムを散布する。pHは中性のため、人体や周辺環境に悪影響を与えない。また、雨水に対して耐性を有している。

ダストシャットの荷

ムを散布する従来法では、金属類への腐食性や植物への影響（塩害）があり、雨天時、雨水に流され効果が低下するが、ダストシャットの主成分は合成樹脂でpHは中性のため、人体や周辺環境に悪影響を与えない。また、雨水に対して耐性を有している。

同社担当者は、「昨今では、東京五輪開催に伴う大規模な建設工事現場や中国・インドネシアなど海外でも営業展開をしている。今後も製品開発を進め、さまざまな分野で発生する粉塵問題の解決、作業環境の改善に寄与していく」と話した。